



第48期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



株式会社 エフピコ



証券コード：7947



代表取締役会長（CEO）

小松安弘



代表取締役社長（COO）

佐藤守正

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第48期上半期の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の急速な景気悪化局面から、一部で持ち直しの動きが見られるものの、雇用の悪化など、依然として厳しい状態が続いております。

当業界におきましても、消費の冷え込みに伴い、外食から中食・内食へのシフトはあったものの、食品小売においては、買上げ個数の減少、買上げ単価の下落など、非常に厳しい状態が続いております。一方、当社主力製品の原材料価格におきましても、前第4四半期から値下がりした価格が当第2四半期より値上がりに転じ、原材料コストの上昇による利益の圧迫が懸念されます。

このような状況の下、販売面におきましては、製品売上高は、原材料価格の値下がりに伴い、製品価格の値下げを実施したものの、製品数量が汎用製品・軽量化製品の拡販などにより増加し、前年同期を上回りました。他方、商品売上高は、不採算取引の見直しを進めたため、前年同期を下回りました。この結果、売上高は630億2百万円となり、前年同期比14億47百万円の減収となりました。

利益面におきましては、前第4四半期より値下がりした原材料価格は、当第2四半期より値上がりに転じたものの、原材料コスト増減による利益への影響は前年同期比13億円の改善となりました。これに対しては、製品価格の値下げを実施しております。他

方、製品販売数量の増加及び製品の軽量化・素材切替が進んだこと、生産・物流などの社内合理化が順調に推移したことなどによる利益改善額は28億50百万円となり、経費7億60百万円の増加があったものの、当第2四半期連結累計期間の経常利益は60億10百万円となり、前年同期比20億89百万円の増益となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間に、販売用動産の一過性の商品売上高13億33百万円及び同経常利益4億5百万円が含まれております。

なお、当社グループの販売品目別の売上高概況は次のとおりであります。

分類	主要品目	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
製 品	ト レ ー 容 器	13,583	21.6	98.3
	弁 当 容 器	34,534	54.8	103.5
	そ の 他 製 品	811	1.3	88.2
	小 計	48,929	77.7	101.7
商 品	包 装 資 材	8,799	13.9	95.7
	そ の 他 商 品	5,273	8.4	73.7
	小 計	14,073	22.3	86.1
合 計		63,002	100.0	97.8

今後の見通しにつきましては、販売面では、製品売上高は、製品値下げを実施したものの、汎用製品や軽量化製品などの製品販売数量の増加により、前期実績を上回る見込みです。他方、商品売上高は、不採算取引の見直しが大幅に進み、前期実績を下回る見込みです。これにより売上高は、1,260億円を予想しております。

利益面におきましては、値下がりした原材料価格が、当第2四半期より値上がりに転じ、当初予想より原材料コスト増となりますが、製品販売数量の増加、製品の軽量化・素材切替、生産・物流に加え管理部門での社内合理化などの利益改善策を推し進め、経常利益120億円、当期純利益69億50百万円となる見込みです。

株主の皆様には、何卒、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		金額
科	目	
流動資産		57,028
現金及び預金		11,454
受取手形及び売掛金		29,108
リース債権及びリース投資資産		85
販売用不動産		40
商品及び製品		10,128
仕掛品		52
原材料及び貯蔵品		1,319
短期貸付金		521
未収入金		2,292
繰延税金資産		1,637
その他の		482
貸倒引当金		△94
固定資産		81,699
有形固定資産		74,310
建物及び構築物		29,440
機械装置及び運搬具		5,341
土地		24,110
リース資産		11,582
建設仮勘定		318
その他の		3,515
無形固定資産		1,333
のれん		342
その他の		990
投資その他の資産		6,055
投資有価証券		3,240
長期貸付金		945
繰延税金資産		754
その他の		1,210
貸倒引当金		△95
資産合計		138,728

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

負債の部		金額
科	目	
流動負債		56,311
買掛金		14,178
短期借入金		23,682
コマーシャル・ペーパー		5,000
リース債務		3,121
未払金		2,901
未払法人税等		2,972
未払消費税等		462
賞与引当金		1,511
役員賞与引当金		38
その他の		2,443
固定負債		25,358
長期借入金		13,855
リース債務		8,959
退職給付引当金		1,431
役員退職慰労引当金		916
のれん		52
その他		143
負債合計		81,670
純資産の部		
株主資本		56,580
資本金		13,150
資本剰余金		15,497
利益剰余金		31,836
自己株式		△3,904
評価・換算差額等		414
その他有価証券評価差額金		414
少数株主持分		62
純資産合計		57,057
負債純資産合計		138,728

四半期連結損益計算書(累計)

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：百万円)

科	目	金額
売上高		63,002
売上原価		43,504
売上総利益		19,497
販売費及び一般管理費		13,653
営業利益		5,844
営業外収益		524
営業外費用		358
経常利益		6,010
特別利益		48
特別損失		166
税金等調整前四半期純利益		5,891
法人税、住民税及び事業税		2,904
法人税等調整額		△499
少数株主利益		6
四半期純利益		3,480

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計)

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：百万円)

科	目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		△4,843
現金及び現金同等物に係る換算差額		—
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)		△4,654
現金及び現金同等物の期首残高		16,108
現金及び現金同等物の四半期末残高		11,454

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ホームページのご紹介

当社はホームページにおいても最新のトピックスをはじめ、業務報告や会社情報などさまざまな情報をご案内しております。

ホームページURL
<http://www.fpco.co.jp/>



トップページ



IR情報

本報告書は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

■ 製品保管や出荷業務の効率改善、生産性の向上を目指し

「新福山ピッキングセンター」を2010年3月の完成へ向けて着工

当社は現在、昨年7月に取得した福山配送センターの隣地に「新福山ピッキングセンター」を建設しております。2009年7月に地鎮祭を行い、完成は2010年3月の予定です。総工費は約18億円で、延床面積は約7,300坪となります。

「新福山ピッキングセンター」に、現在2施設に分散しているピッキングセンターを集約することにより、製品保管や出荷業務の効率改善が図れます。フォークリフトや台車での製品移動が可能で、コンベアー搬送の導入も計画しております。これらの作業環境の整備は、ピッキング精度や生産性の向上に繋がります。

また、お客様が必要な時に必要な量の製品を発注されることで、お客様の資材保管スペースの効率化による在庫負担の軽減や、当社が一括で仕入れることにより仕入れコストの削減が図れます。当社製品に加え、仕入れ保管している箸やラップ等をピッキングしてセットすることによって、一括納入が容易となり、納品のスピードアップによる顧客サービスの向上となります。



新福山ピッキングセンター 地鎮祭



新福山ピッキングセンター 全景

■ 企業の社会的責任として環境関連に積極的に設備投資を行い
リサイクル関連施設を増強

前期（2009年3月期）に約4億円をかけ、リサイクル関連施設の透明容器選別センターを建設しましたが、当期も環境関連に向けての投資を積極的に行っております。上半期においては約2億円を投じ、福山リサイクル工場での、回収トレー温水洗浄ラインを新たに稼働させました。これは、摂氏60度程度の温水にアルカリ性の洗剤を入れて洗浄を行い、ベレットの品質向上につなげます。

下半期は、岐阜県輪之内町に新たなリサイクル工場と物流関連施設用として約10億円をかけて取得した土地に、リサイクル工場の建設を予定しております。当社は食品トレー業界のリーディングカンパニーとして、環境保全を意識した事業活動は企業の社会的責任であり使命であると考え、他社に先駆けて設備の改善・増強を図っております。



新設した温水洗浄ライン

■ 株式の状況（平成21年9月30日現在）

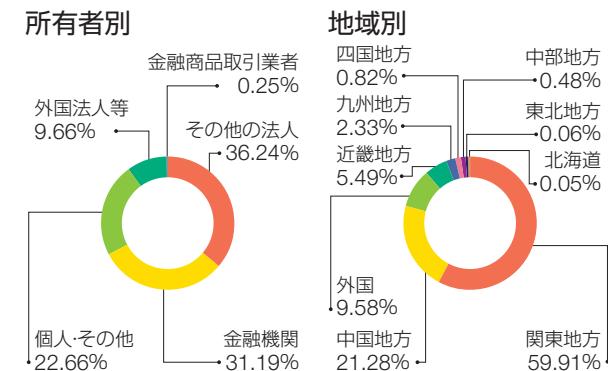
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	22,142,106株
株主数	3,498名

■ 大株主の状況（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社小松安弘興産	6,041	28.93
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,125	5.39
積水化成品工業株式会社	716	3.43
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	691	3.31
エフピコ共栄会	470	2.25
日本スタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託積水化成品工業口)	450	2.15
株式会社西日本シティ銀行	440	2.11
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	381	1.83
小松安弘	374	1.79
小松啓子	369	1.77

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、自己株式数(1,257,898株)を控除して計算しております。

■ 株式分布状況



■ 会社概要（平成21年9月30日現在）

社 名	株式会社エフピコ FP CORPORATION
本 社 所 在 地	広島県福山市曙町一丁目12番15号 TEL084-953-1145（代表）
設 立 年 月 日	昭和37年7月24日
資 本 金	13,150,625,630円
企 業 集 団 の 主 要 な 事 業 内 容	当社は、簡易食品容器関連事業及び 商事関連事業を営んでおります。

■ 取締役及び監査役（平成21年9月30日現在）

代表取締役会長	小松安弘
代表取締役社長	佐藤守正
代表取締役専務	下田正輝
専務取締役	笹部太一郎
常務取締役	池上功
常務取締役	金子誠
取締役	瀧崎俊男
取締役	上垣内詳治
取締役	土利川泰彦
取締役	安田和之
取締役	高西智樹
取締役	高橋正伸
取締役	永井信幸
取締役	岡恒治
取締役	江崎義隆
取締役	高橋稔好
常勤監査役	米沢正純
常勤監査役	唐井正敏
常勤監査役	小林敏朗
常勤監査役	坂田幹彦
常勤監査役	中居敏郎

株 主 名 簿

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.fpco.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株式会社エフピコ

<http://www.fpco.co.jp/>

〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目12番15号
TEL 084-953-1145 (代表)